今週の話題

正門にすわる一ばん憎い首

人氣呼ぶ三川の一口情宣

三川支部の掲示板に近ごろ風変りな情宣が目を惹いている川柳の時もあり、替え唄あり俳句ありといつた調子で、その時々でちがいはあるが、型にはまつた固苦しい情宣文句ではなく、一例をあげると次のような振つたものである。

替え唄　**ヤリキレン節**

首切るぞ　首切るぞの
お話なれど　ヨイ〳〵
日曜取りや首を切られて
どうなるものでしょか
ダガネ
あなたも首のないもんの
身になつてみやしやんせ
ヨイ〳〵
ちつとやそつとの手当や
なんぞで
退職されましょか
トコ首切案引つこめろ!!

およそこんな調子だから掲示板の前は一杯の人だかり、一〇〇％情宣効果を挙げているこれは殆どすべて組合員特に三川川柳会の人達の自発的協力によるもので、組合書記の山田君がピシャリした漫画を添えることによつて錦上更に花を添えると云う訳、今度の闘争がこれ迄に見ない深刻且つ長期に亘るだろうと覚悟されている折柄、眞剣な中にも一脈のゆとりを見せて心強い限りとされている。以下ケツ作を左に御紹介する。

川　柳

正門に座る一番憎い首
首切りへ相憎不用な首がなし
坐り込む人へ目頭熱うなり
整理案釈迦にきかせて見たい案
炭を出せ、出せば余ると首を切り

替え唄　新炭鉱節

月が出た出た泣き出ら
三池炭鉱の首切りに
あんまり会社がひどいので
さぞや皆さん口惜しかろ
サノヨイヨイ

五木のこまる唄

おどま職首々々
あん人たちやよかね
なんのよかろかみなこわい
おどま盆ぎり〳〵
盆から先やわからん
盆がかなしい首供養

俳　句

地炎けり怒るデモ隊続くなり
生きるべき叫びぞ炎ゆる天に
池こ

寫眞は變り型情宣

背中を傳う汗の粒

烈日の下燃えたぎる闘魂

大牟田驛頭　坐り込み七日間

首切り案完全撤回を目指し徹底的に闘う決意を表明、併せて市民の与論を喚起するため鉱組本部は盆休みを返上して十三日午前七時から十九日午後六時まで大牟田駅前に坐り込みを敢行した。議会休会で帰省した阿具根参議もこれに加り、また最終段階では大地評の同志も一緒に燃えるような烈日下不退転の面魂で無言の威圧をかけ一般市民からも多大の同情と理解を得、戦術転換により、現場闘争に重点が切り替えられた結果、成功裡に十九日一先ず幕舎を撤収したが、これは地獄の釜があくと云う十五日から十六日にかけての坐り込み点景―

【午前七時―八時】

〃御苦労さん〃〃しつかり願います〃と言葉をかけあつて前番者と更代、ジツトリと朝露を含んだ筵の上に座を占める。朝風に組合の赤旗がはためき身内がジーンと引きしまる。七時半を過ぎるころ汽車、電車、バスから夥しい数の通勤者の群れが吐き出され長蛇の列が続く。座り込みのテント前を通る誰でもが会釈して過ぎる。中にはわざ〳〵立寄つて〃しつかり頑張つて下さい〃と声をかけて行く人も居る。動く者同志にのみ通じ合う信頼と愛情に胸がしめつけられる。

【九時―十二時】

陽が高くなるにつれて幕舎の中は次第に暑気を増して来る。お墓参りか海水浴行きでゞもあろうか、家族連れの楽しげな旅客が駅前に群れる。幕舎の中は無言、闘争にあけくれてかえり見る暇もない家族の事がフト頭をかすめる。やがて友誼団体の激励慰問が続々詰めかけて来る。特に連日の炭婦協の慰問にはその真剣さに頭が下る。

【午後一時―四時】

摂氏三十六度、暑さは漸く最高潮に達し吹き抜ける風も焼けたバラスに温められてムツとするような熱気を送り込むだけで一向涼を呼ぶには役立たない。見知らぬお婆さんが遠慮勝ちにテント張りを訪れ、暑さの折柄ラムネを贈りたいと申出る。他にも個人で氷や煙草など陣中見舞を差出し、名前も告げないで立去る人がチヨイ〳〵あり、いずれは組合員の家族でゞもあろうか、この人達の為にとも闘志が益々かり立てられる。

【四時―六時】

一日の仕事を終えて疲れた中にも何かなしホツとした表情の退勤者が再び駅に吸いよせられる時刻である。黙々と頭を下げて人々の列は幕舎の前を通り過ぎる。朝から座りづめでようやく脚腰が痛くなる。

【七時―九時】

暮れるに遅い夏の日も次第に暮色を濃くする中に見なれた宵の大牟田駅のネオンが妙に印象的にせまる。一日の行楽を終えて幸せそうな家族連れが汽車から電車から吐き出されるのもこの時刻である。郷愁に似た感慨―

【十時―十二時】

訪う人も流石にとだえて街はすつかり夜の粧い、照りつける陽光こそなくなつたもの丶昼間の暑さでジツトリ汗ばんだシャツが肌にこびりついて気持の悪い事おびたゞしい。然しあつさは依然去らずタラ〳〵と汗の玉が背筋を伝う。

【零時―七時】

一日中ざわめいていた駅頭もすつかり静まり返つた。そろ〳〵睡魔が襲つて来る。ひたすらに夜明けが待遠しい、ねむ気ざましにテントの中ではボソ〳〵会話が交される。過去の闘争の思い出、今度の闘争の闘い方、時々笑声も弾けるが一寸油断するとすぐ瞼がくつゝきそうになる。下りの一番列車が通つたと思うと何時の間にか薄明が訪れて居る。街が次第に騒音を増して活気づいて来る。頑張り通した廿四時間〃やつた〃とはれぼつたい顔が笑み交すのだつた。

坐り込み中の阿具根参議（中央）

阿具根参議談

議会が休会になつたので炭労の諒解を得て一週間から十日の予定で帰つて参りました。議会が再開されるのは九月下旬なので、その間首切り反対の為三池を振出しに各地を廻るつもりですが、組合の場合を考える時、組合結成当時三万二千名の組合員を擁していたのがその後の人員整理、更に今度の二千七十一名を加えると一万六千なにがしと丁度眞半分になる訳で、三染を例に取つても結成当時の九千名が三回にわたる整理で四千五百名とこれまた半減して居ります。敗戦により四等国に落ちぶれた日本に八千五百万の人口を抱えて居る今日、この調子で労働者の数を半分に減らすという事は正に破局近きを思わせるものがあります。しかもスト規制法を理論で破れながら数の暴力で会期延長までして押し通したという事は、当然予測される首切りに備えてあらかじめ強力な武器を取り上げて置く為、経営者と政府がなれ合いでやつた事は余りにも明かで、中小炭鉱の中には廃山の止むなきに至つた所も多いというのに、スト規制法で労働者側には罰則を設けながら経営の不手際でヤマをつぶす側には何の罰則も設けないという片手落ちなやり方からしてもはつきりうかゞえます。所詮労働者を首切つて産業予備軍をふやし、奴隷労働による物価の引下げで貿易促進をねらうものであると断ぜざるを得ません。更に経営者にして見れば炭が余れば高賃金を取る労働者を首切り、足りなくなれば安い賃金で人を入れるという極めて狡猾な算盤をはじいて居るのでありまして、ひるがえつて考えて見ます時炭婦協結成に三池だけが反対したのも首切りを控えて組合の力を弱めるため先ず主婦を反対、賛成の二派に分流して組合内部に抗争する勢力を作り、あわよくば第二組合でも作らせようという深謀遠慮に出たものでこの事を組合員は勿論、主婦の皆様も充分見抜き会社の甘言やろう策に乗る事なく最後まで団結を固めて闘い抜いて頂きたいと念願するものであります。

多くは食い詰めて離散

希望退職者のその後

昭和廿五年の企業整備に三池だけで五千人をこえる希望退職を出した。三年たつた現在、その人達はどうしているだろう？編集で及ぶ限り調べたところではその大部分が半年から一年位で退職金を食いつぶして大牟田から姿を消しているが、残つた人達も九〇％まで結果は好くないようで失対人夫、地金拾い、甚だしい場合、これは婦人であるが三川町界隈の特殊飲食店に身を沈めている向きさえある始末、以下少しく詳しくその後の消息を探つて見よう。

退職者に共通して云えることは大なり小なり借金苦にせめられてこれを返す為に辞めた者が多いことまた誰しもが一応は商賣を始めるべく一万数千円を投じて運搬車を買つて見たもの丶結局は失敗して元も子もなくした。更に若い者では筑豊あたりの小ヤマに職を求めて一度は入つたもの丶三池に較べると保安状況、施設、福利、労働条件など段ちがいに悪いので忽ち離山、転々とヤマを流れ歩いて居る者も多いと聞いている。

四山支部Aさん（男）

浴場の風呂たきを三年勤め八万円貰つて希望退職したが借金を払つたら幾らも残らず、そのうち息子さんが結核におかされ二年越し銀水園に入院しなければならぬと云う悲境に見舞われ今ではAさんが二瀬山採石場山下組の人夫として得る日給二百卅円で一家六人が辛くも露命をつないでいる。

同　Bさん（男）

退職金卅万円、そのうち廿万円で家を建て、残る十万円で商賣を始めるつもりが意の如くならず、日蓮宗のうちわ太鼓を叩いて物乞いに廻り夫婦に子供一人が口を糊している。勿論家は賣り渡しわびしい間借り生活に落ち込んでいる。

三川　Cさん（係員）

現場係員だつたから相当な退職金を貰つたはずだが一年足らずで落魄、暫く醤油の行商をやつて居たがその後食い詰め、今は行方知れず

同　Dさん（女）

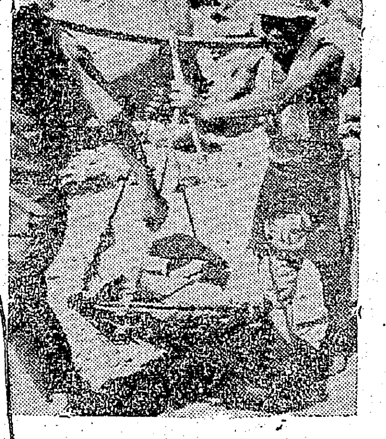
有利な条件につられて退職はしたもの丶遊んでいては一家の生計が保てず三川町の某呉服店に安い賃金で働いている。これはまだ好い方で、特飲店で夜の女に転落した悲惨な実例もある。

宮浦　Eさん（男）

六万円の退職金で辞め、その後三池で乞食のようなくらしをしていたが一昨年米山炭鉱に採炭夫として入社然し採炭が重点視されるのは三池だけで他の小ヤマでは一番悪い条件下に置かれているので納屋同然の社宅に住んで苦しいその日その日を送つている。

同　Fさん（男）

採炭をやつていたが十八万円程を握つて退職、以前の経験を生かせて三池で魚屋さんを開業、その日の暮しには困らない程度にやつて行けてるがこれなどは希望退職組としては成功した部数に属しよう



採石場で石運び

詩

「或る戀愛」

四山支部　岩下芥子夫
―S・Y詩しよう―

女よ
決して君自身の内に
私を不満にさせる様なものがあるから
君を憎むのではない。
君の瞳、口、耳、頬、…と
すべてが美しく愛らしい故に
私は君を憎むのだ。

君の行く道は、
きれいな花の咲き匂ひ、
青空をながめて
陽光を全身に浴びて行く、
きれいな道なのだ。
それが君の人生なのだ。

私には道はない、
私が道を作つて行くのだ
きれいな花の咲き乱れている道になるかもしれない。
青空の道になるかもしれない。
しかし、
凛烈としたいばらの道になるかもしれない。
雲におゝわれた暗い寒い道になるかもしれない。
私はかへつてそうなることを欲しているのだ。
いや、そんな道を作るんだ。
それが試煉だ。
私は耐へたいのだ、
あらゆる苦に、そして克服したいんだ。
これが私の人生なのだ。
私の望む道には孤独の林がある
それは私にはふさわしい道なのだ。

私の望む道には凛烈な風が吹いている、
それは私にはふさわしい道なのだ。
私はその孤独に、凛烈に
君をとられたくないのだ。
女よ、
私から去つてくれ。
君の美しい瞳が紫色に腐れ、
口が白く爛れ、
耳が赤く腫れ上つて行く、
君の不幸な時の姿を見たくないのだ。
もしも、
君が私より以上に強くなれるなら別だが、
私の孤独に君は耐えることはできまい。
私の凛烈の風に立つておることはできまい。
平凡な女にだつていゝ
君にも意志はあるのだ、
君は行くべき道を行つてくれ。
私は淋しいが、
君がそれで幸福になるのだつたら
私は耐えよう、
そして、一人でゞもいゝ、進もう
女よ。
そうあせつてもだめさ、
心の燃えている女よ。
まあ、そうあせらずにきけ。
私から去つてくれ、
いや、去りたまえ。
しかし、君自身黄泉の客となることを今欲し、
又そうなるのなら、
私のあとをついて来たまへ。
私は君を愛しているので、決して
そこまでは拒みはしない。
君はどこまで行くのか知りたい
いや、どこまで行ける女か知りたい。
私と一緒に行くのが君の幸福と云ふなら、
君の不幸が君の幸福なら、
君の流亡が君の享楽なら、
何に怖れることがあろう。
ついて来たまへ。
勿論、私は幸福だ、
しかし、私の孤独で君を不幸にし
黄泉の客となすことが、
私には腸をたゝれるおもいである。
ふと、これが恋愛だろうかと思つた。

驛前坐込みを見舞

他人ごとと思えぬ　と元組合員夫人が

坐込みも戦術の転換と共に愈々午後六時で解くという最後の十九日三時半ごろ　駅前の商店から乙女が「只今女の人がこれを届けるようにとのことでした」と坐込みの同志にラムネ、パンが渡された。坐込みの人々よりその奇特な行為の人は誰かと聞いたが、わからないので、このまゝではすまぬとたまたまそこに来合せた竹原監事がその乙女とともに駅のホームへ捜しに行き「この人です」と指差す人は二十七、八才位の子供を二人連れた洋装の婦人で、竹原幹事が礼を述べ、話を聞くと次のようなエピソードがある。

宮浦乙方掘進に田中義雄という人が居たが、本年一月打切保償で退山し八幡へ移転、盆で奥さんがたまたま大牟田に帰つたところ、坐込み状態を目撃、主人が退山する時の状態や組合の親切な行為が思い出され、人ごととは思われず、些細であるが、坐込みの人々ののどをうるほし腹を幾分でも太らして貰う為前記のような名もつげない行動に出られたもので、全く感激の外はなかつた。

この奇特な行為に竹原監事は次のような歌をつくつた。

名も告げず品物贈り駅前に坐込みいる人を励ます
人ごとと思えずと云う人妻の瞳きびしく輝き居たり
病弱の良人もかつて鉱山にありし今次首切り他人ごとに思えず
美しきかつては鉱山の人妻も心は一つ憤りおり
奇特なるやさしき人の心根を苦難の友等何んと聞くらむ

戰い拔くのだ

ワッショイ〳〵冷酷無比な会社の経営者に猛省を促すため
デモの隊列は役宅をうねり歩く。
貧乏人、労働者の真剣な顔つきを
血の流れ、人間性があるならよく見てくれ、
汗とちりによごれた顔で、
坑長、副長宅へ
デモの隊列は流れて行く。
俺達は生活と家族を守るため、最後まで戦いぬくのだ。

企整闘争の完勝へ

中央委員會で重要審議

八月二十日午後一時より四山講堂で宮川中闘をむかえて中央委員会を開催、企業整備闘争経過報告並に質疑應答がなされ、これに関連して六件の議事の審議をなした。

職場討議を充分に

十月以降の賃金

十月以降の賃金は先般炭労が実施した世論調査を基礎にして組立てられ、最低賃金八千円（税込）以上を必ず確保する様にする。なお今次賃金要求の考え方としては

1、個別賃金による要求
2、最低賃金の要求
3、請負給の撤廃
4、八時間で食える賃金の要求
5、闘争方法としてのマーケット・バスケットの採用

以上で詳細は炭労号外で全組合員に配布済みで、今次中央委員会では説明と質疑応答をなす予定であつたが、資料の不備で次回へ持越すことになつた。

大闘争に備えて

一千四百万圓を準備

スト規制法、企業整備闘争と大きな闘争が相ついで起り、闘いの裏付の資金が必要となつてくる段階では上部の炭労、九州炭労、三鉱連、西鉱連、大地評と負担金が増大している。この様な一切の闘争の資金として一千四百万のスト基金を使用することを本中央委員会で決定して頂きたいとの提案を諒解決定した。なお同予算の編成は中央執行委員会でなす。

保安要員のカンパ

坑外八十円　坑内一二〇円

保安要員として、スト期間中出勤した人より従来、坑外四十円、坑内七十円のカンパを願つていたが今次賃季闘争で再検討する時期となつたので、執行部としては検討の結果、額の引上げを坑内一二〇円、坑外八十円になしたいという事を提案、これを諒解した。

重點闘争の保償は

全組合員の連帯で

局部スト、指名スト等参加者に対し給与の保償をなさねばならないので　その該当者の方に対し全組合員より八〇％の保償をなす事を提案するとともに時間外拒否の四職種（採炭、掘進、乾式充填、払コンベヤ移設）も八〇％の保償をなすことを提案、これを諒解決定した。

この問題については、情宣をもう少し徹底して全組合員に当つてもらいたいとの強い要望もあつたがこの決定が会社に及ぼす影響を考えて早急に決定して頂きたいとの執行部の要請をめぐり委員同志の論戦が行われ、採決により決定した。

通告拒否で闘う人の生活

も殘つた人で保障する

吾々は中央の指令に従つて、一名も希望退職者を出さない方針で闘つて来たが、会社は一方的に解雇通告書を出す気配であるので、この通告書を受けた人に対し、断固これを拒否せよと指示を出しているので、通告書を受けた人は返上して闘わねばならない。今後通告を受けた人、受けない人でもともに闘わねばならない。そのため通告を拒否して闘う人の生活の保障をなさねばならない。執行部としてはこの人達の保障を健保日額の六〇％保障するよう考えている。同参考まで残つた組合員の方のカンパ額は各人的八％位になる。以上の説明を聞き提案を諒解した。

職鑛共闘で

今次の首切闘争には職鉱の強力な共同闘争が必要だとして、三鉱連との間に共闘態勢が出来たので、三池の山元でも本部、支部にも共闘組織をつくることを提案、これを諒解した。同共闘委員は本部各六名、支部若干名である。

財務規程を検討

財務規程第三条　組合財務運営に関しては本規程に基き財務長が一切の業務を統轄する。とあるが基金の使用（例えば今次の一千四百万円）が改正しなければならない時は次期中央委員会に検討して提案する。

私達の大事な生徒の為に

徹底的に闘つて下さい

首切反對闘争に　日教組激文を寄せる

坐込みに、デモに組合員も主婦も家族も今必死になつて首切完全撤回のため必死の闘いを続けている。十七日夕刻からは大地評傘下の各組合より「今日は人の身、明日は我が身」と友愛と信義に燃えて坐込みに応援、市民大多数の同情をかつた。なお市教組では坐込みの人々や炭婦協、執行員、組合員に対して百数十通の激励文が寄せられ、これに対し炭婦協代表者は感激し、各分会へ分けあつてこれに対し感謝の返報をなすことになつている。以下はその激励の一部

資本家の一方的な首切発表は三鉱二千数百名の労働者並にその家族の生活権をおびやかしてきました私達市教組はこの首切反対に断固

驛前坐込の方々へ

三鉱首切り反対駅前坐込みの方々にはこの炎天下もいとわず大衆の前に三鉱を代表して日夜闘いをつゞけて居られますが、私毎日駅前にて目撃し誠に感慨無量でございました。殊に教職にたずさわつております私は失業者の家計の窮困さより起こる学童への影響をすぐ考えます。炭都大牟田市の将来のためにも今一度闘い抜いて一人も犠牲者が出ない様御尽力頑張り通して下さい。

今回首切の対象になられました御家族には生徒さんも多数おられることゝ存じます。その生徒さん方が安心して学修が出来ますよう首切には絶対反対して子供さんたちを守りぬきたいと心から念願し貴組合の闘争をあくまで支持しますから益々御奮闘をお祈りします。

立上られた皆様の闘争に対して極力応援を惜しまないものであります。

炭婦協の方へ

毎日の暑さに皆様はよく健闘して頂いて居ります。昨日も私（大牟田教員組合の者）は駅頭の坐込みの方々に激励と慰問に来て居られる炭婦協の方々を拝見致しました。ほんとうに思わず目頭が熱くなりました。整理問題に敢闘して居る男の方と全く一体となつて反対闘争をして居る姿は全く同情なしには居られません。皆さんの起ち上られるのはもつともです、生活の根本問題です。私たち学校職員はこの問題を教育の立場から強く関心をもつています、考えただけでも身の毛の逆立ちをする様な思いがします。私たちの最も大切な子供がこの社会問題の渦の中に巻きこまれる運命にあることを思いますとじつとしては居られません。どうか皆さんの正義と勇気と団結で勝ち抜いて下さい。そうすることが子供を守ることになります。毎日の暑さとも闘いながら敢闘されているが最後までお体を大切に闘い抜かれますよう心から祈ります。

草々

執行部御中

執行部の皆様

首切りは平和を守る

全國労働者への挑戰

市學生會がメッセージ

十九日午後六時組合本部え九大長浜実雄君外五名が訪問、今次の炭鉱労働者の首切は世界平和をおびやかし、祖国の独立と民主々義と労働者、農民を中心とする国民生活に対する運大な攻撃と考え、平和を守るため、三鉱労組の首切り撤回の闘に邁進しますと次の様なメッセージを送つてきた。

メッセージ

今回大牟田在住の学生により発足致しました大牟田地区学生会としまして、去る七日会社の首切り企業合理化案が提示されて以来日夜反対闘争に御健闘していられる皆様方に一言メッセージを送らせて戴きます。

炭鉱首切り問題はこゝ三池炭鉱にとゞまらず、全国各炭鉱に及び日本社会にとつて重大な社会不安をまき起しております。

中略

私達は三池炭鉱における首切りは世界平和をおびやかし祖国の独立と民主々義と労働者、農民を中心とする国民生活に対する重大な攻撃と考え、平和を守り働くものゝための政府樹立の日まで微力ながら皆様方に教えられ、学びつゝ共に闘うことをかたく誓います。

どうか皆様会社側の巧妙な切崩し戦術に屈されることなく確固たる一致団結をもつて挑戦し首切り撤回に邁進され、皆様方の同志三〇七一名及び御家族を守られ勝利をえられんことを切望いたします

簡単ですが以上をもちまして激励の言葉にかえます。

炎天に蹶起大會

原社宅地域分會

去る九日午前十時半より三池の社宅で最北端にある原地域分会では今次首切りの完全撤回の為、けつ起大会を開催した。

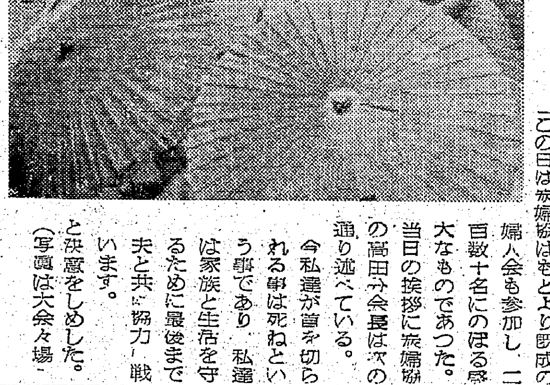
司会を武藤佐敏氏が務め、石橋副支部長の中央情勢報告後真剣な質疑応答がなされた。

この日は炭婦協はもとより既成の婦人会も参加し、二百数十名にのぼる盛大なものであつた。

当日の挨拶に炭婦協の高田分会長は次の通り述べている。

今私達が首を切られる事は死ねという事であり、私達は家族と生活を守るために最後まで夫と共に協力し戦います。

と決意をしめした。



（写眞は大会々場）

成るか宮浦の連覇

三鑛少年野球23日開幕

三鉱少年野球大会（第四回）は愈々二十三日予選の幕を切つて落し二十五日優勝戦が行われるが、各チーム共これに備えて炎天の下必勝の気概に燃えて連日猛練習を行つている。昨年に引続き連覇の呼び声が高い宮浦チームを訪れると丁度本所と練習試合中だつたが、

コーチの甲斐、大塚両君は強敵は矢張り三川です。ピッチャー藤川はまだ五年生ですがアウトカーヴに威力があり、打つては四番の重責を担うなど、攻守共に光つて居り、打順も大体五番までは粒が揃つているので守備に若干気がかりな点もありますが、何とか優勝は物に出来ると思います。

と自信の程をほのめかせた。

＝映畫紹介＝

明日はどつちだ

新東寶作品

新聞記者というものを通して現代生活の目の廻るようないそがしさを描こうとしている。

その主題がもつと掘り下げられたら、おもしろい作品になつたろうが、スリラーでもなく、社会性も出し切らず中途半端なものになつている。これは主人公なる舟橋元の新聞記者の風格の足りなさとも関係がある。

ただおもしろいのは、新聞社の近くにいるそば屋の出前持ちの話である。彼は新聞記者と親しいのでいつの間にか記者的精神になり、事件があると仕事を放つて出かけて行く。そうして一つの殺人事件のヒントを与える。この出前持ちになるのは三井弘次、ちよつとした捨ぜりふにもおもしろみが出ており、いかにも人間的な味が全編に流れている。

高峰秀子、池部良、宇野重吉がつき合い程度で出ている。